

(様式 2)

地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(自動運転社会実装推進事業) 間接補助事業者 提案書

〇〇県〇〇市

【記入にあたっての留意点】

- ・ 様式 2 は、本様式に沿って作成してください。別の形式での作成は認められません。
- ・ 各項目の※書き及び表中の記載例は削除したうえで提出してください。
- ・ フォントは MS ゴシック・10.5 ポイント以上としますが、図表中の文字等はこれに限りません。
- ・ 文字数の制限等は設けておりませんが、各項目の※書きに従い要点を簡潔に記載してください。
- ・ 各項目は必要に応じて記入枠の大きさの調整や行の追加を行ってください。
- ・ データ等を引用する場合は出典を明記してください
- ・ 提案書の作成にあたっては「自動運転移動サービス社会実装・事業化の手引き」も参照してください
(参考 : <https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001751816.pdf>)

【目次】

1. 事業目的の整理
 - 1-1. 地域課題・事業目的の整理
 - 1-2. 自動運転事業に取り組む背景・目的
 - 1-3. 2025 年度事業の位置づけ
 - 1-4. 地域公共交通計画等での位置づけ
2. サービス計画・準備
 - 2-1. サービス計画
 - 2-2. サービス準備
3. 25 年度事業計画
 - 3-1. 検証項目
 - 3-2. 経営面の事業内容
 - 3-3. 技術面の事業内容
 - 3-4. 社会受容性面の事業内容
 - 3-5. 実施体制図
 - 3-6. 参画団体・体制
 - 3-7. スケジュール
 - 3-8. 類似の事業実績
4. 事業の将来像
5. その他
 - 5-1. 情報公開可否について
 - 5-2. 他の施策との連携

1. 事業目的の整理	
1-1. 地域課題・事業目的の整理	<p>※自治体が抱える地域課題（全般的な課題/交通に関する課題）と、当該課題の解決手段として検討されている打ち手を記載してください</p> <p>※「自動運転移動サービス社会実装・事業化の手引き」の「第2部_導入編_事業目的の整理」も参照してください</p>
1-2. 自動運転事業に取り組む背景・目的	<p>※1-1. で挙げた課題に対し、自動運転事業によってどのように地域課題の解決を行うのかを詳細に記載してください</p> <p>※また、課題の解決に向けて目指す自動運転移動サービスのあり方について記載してください</p> <p>※5-1. ロードマップにおいても当該項目の内容を踏まえて記載してください</p> <p>※「自動運転移動サービス社会実装・事業化の手引き」の「第2部_導入編_事業目的の整理」も参照してください</p>
1-3. 2025 年度事業の位置づけ	<p>※1-2. で記載した自動運転移動サービス実現に向けて、2025 年度はどういった事業を行う必要があるのかを記載してください</p> <p>※5-1. ロードマップにおいても 2025 年度事業の位置付けがわかるように記載してください</p>
1-4. 地域公共交通計画等での位置づけ	<p>■ 地域公共交通計画</p> <p>※地域公共交通計画において自動運転移動サービスの実現について定めている場合、計画における該当箇所を抜粋し、活用方針を記載してください</p> <p>（計画の URL を添付し、該当章・ページを記載する形でも構いません）</p> <p>※地域公共交通計画において自動運転移動サービスの実現について定める予定がある場合は、現時点で記載予定の内容について記載してください</p> <p>■ その他計画</p> <p>※その他自治体が定める各種計画において自動運転移動サービスの実現について定めている場合、参考資料を提示してください</p>

2. サービス計画・準備

2-1. サービス計画

■ 2-1-1. 地域特性・利用者ニーズ

※自動運転移動サービスの導入を計画している地域の特性や想定される利用者の属性・利用目的について記載してください

※「自動運転移動サービス社会実装・事業化の手引き」の「第2部_導入編_サービス計画立案」も参照してください

項目	内容
地域特性	
利用者 ニーズ	

■ 2-1-2. 運行ルート

※自動運転車両の運行ルートを地図等のイメージを使用して記載してください

※当該ルートを選定した理由を合わせて記載してください。

※運行ルート上に設置予定の路車協調インフラ設備（信号連携、死角情報提供システム等）についても地図内に明記してください。

※運行区間ごとの実際の自動運転レベルについても地図内に記載してください。具体的には、「手動操作」「原則、自動運転（必要に応じて手動操作）」、「自動運転（レベル4運行）」等を運行ルート上に記載してください

【2025 年度】

地図等を貼り付けてください

項目	内容
ルート 選定理由	

【レベル4 実装時】

※将来的にレベル4運行を実施予定の区間について、地図内に明記してください。レベル4運行区間を段階的に拡大することを予定している場合は、その順番・時期が分かるように記載してください

地図等を貼り付けてください

項目	内容
ルート 選定理由	

■ 2-1-3. 路車協調インフラ設備

※運行ルート上に設置予定の路車協調インフラ設備（信号連携等）を以下の表に記載してください。自動運転車が自立的に走行できない箇所に設置する場合は、その旨を明確に記載してください。

設備種類	実施有無		設置個所数、設置が必要な理由
	2025 年度	レベル 4 実装時	
信号連携	有/無	有/無	例) 残秒数情報を取得し、円滑に走行できるようにする
〇〇	有/無	有/無	
〇〇	有/無	有/無	

■ 2-1-4. 運行方式

※2025 年度及びレベル 4 運行時に想定される運行種別・運行方式を以下の表に記載してください

実施時期	運行方式	運行方式の選択理由
2025 年度	定路線（定期）/ 定路線（不定期）/ 区域	例) 通勤時間帯と日中ではニーズが異なるため、通勤時間帯は定路線（定期）、日中は定路線（不定期）として効率化を図るため
レベル 4 運行時	定路線（定期）/ 定路線（不定期）/ 区域	

■ 2-1-5. 運行種別・運賃設定

※2025 年度及びレベル 4 運行時の運行種別・運賃設定について記載してください

実施時期	運行種別	運賃設定	設定理由
2025 年度	乗合/特定/乗用/ 自家用有償/無償	有償/無償	
レベル 4 運行時	乗合/特定/乗用/ 自家用有償/無償	有償/無償	

■ 2-1-6. 運行期間・運行日数

※2025 年度及びレベル 4 運行時に想定される運行期間を以下の表に記載してください

※複数の運行ルートがある場合は運行ルートごとに作成してください

【2025 年度】

• 補助対象期間内の運行期間

※本事業の予算を活用した運行のみを対象として「運行期間」・「運行日数」を記載してください

運行内容	運行期間	運行日数	
準備運行	○月○日～○月○日 ※●曜除く		日間
関係者 試乗運行	○月○日、○月○日		日間
一般運行	○月○日～○月○日 ※通年運行の場合はその旨記載してください		日間
その他 運行	※その他運行があれば記載してください		日間

• 総運行期間

※2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日（補助対象期間外を含む期間）の同地域における全ての運行を対象として「運行期間」・「運行日数」を以下の表に記載してください

運行内容	運行期間	運行日数	
準備運行	○月○日～○月○日 ※●曜除く		日間
関係者 試乗運行	○月○日、○月○日		日間
一般運行	○月○日～○月○日 ※通年運行の場合はその旨記載してください		日間
その他 運行	※その他運行があれば記載してください		日間

【レベル 4 運行時】

※レベル 4 運行を実施する際の 1 年間の運行期間・運行日数を以下の表に記載してください

運行内容	運行期間	運行日数	
一般運行	○月○日～○月○日 ※●曜除く、冬季は運休 等		日間

■ 2-1-7. 運行ダイヤ

※2025 年度及びレベル 4 運行時の運行ダイヤを記載してください

※既存の時刻表等を貼り付けていただいても構いません

【2025 年度】

【レベル 4 運行時】

※2025 年度と同様の場合はその旨を記載してください

■ 2-1-8. 運行車両

※2025 年度及びレベル 4 運行時に想定される運行車両について記載してください

【2025 年度】

調達形態	車両名	車両メーカー	自動運転システム開発事業者	台数		補助対象有無
新規購入					台	対象/対象外
					台	対象/対象外
リース					台	対象/対象外
					台	対象/対象外
既保有車両					台	—
					台	—

【レベル 4 運行時】

※レベル 4 運行時の自動運転車両について記載してください

調達形態	車両名	車両メーカー	自動運転システム開発事業者	台数	
保有					台
					台
リース					台
					台
計	—				台

■ 2-2-1. 運行体制

※レベル4 運行時の運行体制について、各業務の実施主体を以下の表に記載してください

※現時点でレベル4 運行を実施していない場合は、将来のレベル4 運行時を想定して記載してください

※「自動運転移動サービス社会実装・事業化の手引き」の「第3部_実装編」も参照してください

	役割	実施主体
運行主体	交通事業の運営者	
運転者	走行状況を判断して車両を操作する人	
特定自動運行主任者	特定自動運行の開始・終了を指示する人	
特定自動運行保安員	運行や乗降時の安全を確保する人	
現場措置業務実施者	交通事故時に駆けつけられる人	
サービス乗務員	料金収受等に対応する人	
運行管理者	事業用自動車の運行の安全を確保する人	
その他人員	※上記以外に必要な人員が想定される場合は、役割とあわせて追記	

2-2.

サービス準備

※2025 度の運行体制について、各業務の実施主体を以下の表に記載してください

	役割	実施主体
運行主体	交通事業の運営者	
運転者	走行状況を判断して車両を操作する人	
運行管理者	事業用自動車の運行の安全を確保する人	
その他人員	※上記以外に必要な人員が想定される場合は、役割とあわせて追記	

■ 2-2-2. 緊急時の体制

※2025 年度及びレベル4 運行時の緊急時の体制について、以下の表に記載してください

項目	内容	
	2025 年度	レベル4 運行時
緊急時対応スタッフ	※人数・それぞれの役割について記載	※人数・それぞれの役割について記載
緊急時のオペレーション	※緊急時の対応の流れ・外部機関との連携等について記載	※緊急時の対応の流れ・外部機関との連携等について記載

※関連する写真・イメージ（緊急時の連絡フロー等）があれば掲載してください

■ 2-2-3. 地域コミッティ

※地域コミッティの設置状況について、以下の表に記載してください

主宰者	設置状況	設置（予定）日	初回会議開催（予定）日
	済/未	20xx 年 xx 月 xx 日	20xx 年 xx 月 xx 日

3. 2025 年度事業計画

※1-3. 2025 年度事業の位置づけや、応募する事業（重点支援事業/一般支援事業）、公募要領に記載の推奨される取組等を踏まえ、2025 年度事業の検証内容を記載してください

3-1. 検証項目

検証テーマ	取組内容	想定される成果
レベル 4 運行時の事業性に係る検証	実証実験を通じたレベル 4 運行時の業務／必要人員の整理	レベル 4 運行時に事業性を成立させるための事業計画（車両台数、人員配置 など）
レベル 4 許認可の取得に向けた XX 区間の検証	過年度の実証実験にて手動介入が多かった区間の対策・効果測定	特定区間における手動介入率の低減

3-2.
経営面の
事業内容

■ 3-2-1. 中長期収支計画の作成

※2025 年度の費用構成及び 2025 年度以降の収支計画について、様式 2 別紙「中長期収支計画」シートへ記載してください

■ 3-2-2. 収入拡大策

※様式 2 別紙「中長期収支計画」の年間収入の費目を対象として、今後の収入拡大の方針を記載してください。(また、今年度事業で具体的な取組を実施する場合には、取組により想定される効果、効果測定の方法を記載してください)

項目	収入拡大の方針	2025 年度の取組
運賃収入	運行時間の拡大による利用者数の増大	夜間運行における受容性検証
法人利用料		
協賛金		
貨客混載		
視察収入		
広告収入		
その他		

■ 3-2-3. 支出削減策

※様式 2 別紙「中長期収支計画」の年間収入の費目を対象として、今後の支出低減の方針を記載してください。(また、今年度事業で具体的な取組を実施する場合には、取組により想定される効果、効果測定の方法を記載してください)

項目	支出低減の方針	2025 年度の取組
車両費	運送効率の向上により、事業に必要となる車両台数を低減	自動運転時における所要時間、台当たり輸送量の検証
車両関連費		
システム関連費		
設備関連費		
リスクアセスメント関連費		
労務費		
その他		

■ 3-2-4. 事業費確保策

※様式 2 別紙「中長期収支計画」に基づき事業費確保策を記載してください

項目		2025 年度		レベル 4 運行時	
事業費	自治体予算	令和 7 年度当初予算			
	その他事業者負担	〇〇株式会社による負担			
補助金	本補助事業 以外の補助金	〇〇補助金			
確保有無		確保済み/年度内に確保予定		確保済み/年度内に確保予定/次年度以降に確保予定/確保予定なし	
確保額			円		円

■ 3-2-5. 移動以外の効果

※経済的波及効果や交通以外の分野における公的負担額の軽減等による持続可能性の向上に本年度取り組む場合は、導入効果の検討結果とその評価方法を具体的に記載してください

項目	内容
導入効果の 検討結果	※商業（周辺施設の売上向上、企業誘致）、交通（交通事故の減少、交通渋滞の減少、送迎時間の減少）、医療（公的医療費負担の減少）、福祉（介護費用の削減）、行政（地価向上、税収増加）などが想定されます。

※本年度に定量評価を実施する場合は、評価方針を下記表に記載してください

評価対象効果	評価ロジック案	使用予定のデータ/ データ収集方法案
※導入効果の検討結果の中から定量評価を実施する対象を記載してください。	※財源獲得に寄与することのできる、妥当性と説得力のあるロジックの使用を推奨します。	※統計データやアンケート結果など、根拠のあるデータを使用することを推奨します。

※本年度に定性評価を実施する場合は、評価方針を下記表に記載してください

評価対象効果	評価方法
※導入効果の検討結果の中から定性評価を実施する対象を記載してください。	※アンケート調査やヒアリングといった具体的な評価方法を記載してください。

■ 3-2-6. 波及性

※他の地域・自治体にとって参考となるビジネスモデル・収支計画が構築されている場合、資料とともに記載してください

※どのような点が他の地域・自治体にとって参考となるのか、ポイントを示してください

■ 3-3-1. 自動運転車両の特徴

※事業で使用する車両単体の機能・特徴について記載してください

※インフラ連携等、車両以外の機能は記載しないでください

※運行予定の車種が複数ある場合は、車種ごとに以下の表を作成してください

3-3.
技術面の
事業内容

項目		内容					
車両 スペック	車両名						
	車両サイズ	L :	mm	W :	mm	H :	mm
	乗車定員						人
	自動運転時の定員	(合計)		人	(座席数)		人
	航続距離						km
	最高 速度	車両性能					km/h
		自動運転時					km/h
	セン シン グ	LiDAR					個
		ミリ波 レーダー					個
		カメラ					個
	その他装備						

保有機能	信号認識	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください
	歩行者検知 (横断歩道)	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください
	緊急車両検知	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください(例:○により緊急車両を検知)
	交差点での右左折	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください
	交差点通過	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください
	横断歩道通過	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください
	発着	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください
	公道合流	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください
	経路追従走行	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください
	経路逸脱走行	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください
	車線変更	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください
	障害物検知・停止	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください
	障害物検知・回避 ※自車線内のみ	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください(例:道路幅○m以上の道路に限る)
	障害物検知・回避 ※対向車線含む	可/不可/ 条件付きで可	機能の補足、条件付きで可の場合の条件を記載してください(例:制限速度○km/h以下の道路に限る)
	自己位置推定	磁気マーカー/ 電磁誘導線 /GNSS	自己位置推定方法を網羅的に記載してください
	MRM※		
	その他特徴等		

※MRM(ミニマム・リスク・マヌーバ): システムから運転を引き継がない時、安全に車両を停止させる機能

※車両全体の写っている写真・イメージ)を掲載してください

■ 3-3-2. リスクアセスメント

※本事業ではリスクアセスメントを通じて、運行ルート上の危険箇所における評価・対策を実施いただきます

※昨年度までの事業でリスクアセスメントを実施している場合、車両や走行環境等に変更がなければ、再度リスクアセスメントを実施いただく必要はございません。その場合は、交付決定後に昨年度までの事業におけるリスクアセスメントの実績を確認可能な資料を提出いただきます

リスクアセスメントを通じて、運行ルート上の危険箇所における評価・対策を実施いただきます

項目	内容
昨年度までの事業における実施有無	有/無
事業者 ※今年度実施の場合のみ、要記入	※リスクアセスメントの実施主体を記載してください
現状分析 ※今年度実施の場合のみ、要記入	※運行ルートにおける危険箇所と対策について、現時点で想定する内容を記載してください。(車両・走行環境に起因する危険等) ※通常の場合だけでなく、緊急時(トラブル・災害等)や異常時(機器故障等)のケースも含めて記載してください。

■ 3-3-3. その他安全性確保に向けた取組

※乗客、周辺歩行者及び車両の安全性確保の観点での、車両や運行サービス、遠隔監視体制等における特徴について記載してください

■ 3-3-4. レベル 4 運行に係る許認可取得

※レベル 4 運行に向けた関係法令の許認可申請予定について、以下の表に記載してください

項目	走行環境条件付与 (道路運送車両法)	特定自動運行許可 (道路交通法)	旅客自動車運送事業許可 自家用有償旅客運送登録 (道路運送法)
2025 年度 申請予定	有/無	有/無	有/無
申請予定 年月	XX 年 XX 月	XX 年 XX 月	XX 年 XX 月
申請者			
調整状況	※関係者との調整状況 (申請までの計画策定 等)について記載してください	※関係者との調整状況 (申請までの計画策定 等)について記載してください	※関係者との調整状況 (申請までの計画策定 等)について記載してください

■ 3-3-5. レベル 4 運行に向けた課題・対策

※レベル 4 運行を実施予定の区間について、地図等も活用しながら記載してください(「2-1. 運行場所」の再掲でも構いません)

※当該区間について、想定される課題及び対策について記載してください。特定区間でのみ課題が生じる場合は、地図上で該当区間を課題の番号(＃列)で図示してください

※特に車両技術のみでのレベル4 運行が困難であると考えられる区間がある場合、走行環境やオペレーション等による対策について記載してください

#	課題	対策	対応完了時期
1			
2			
3			

■3-4-1. 認知拡大・理解促進

※地域住民や交通参加者等を対象に、事業の認知拡大や、走行特性・安全性等の理解促進の計画がある場合は、その施策について記載してください

※地域住民や交通参加者等を対象に、走行環境の構築・維持に向けた合意形成を図る計画がある場合は、その施策について記載してください

項目	取組内容
認知拡大・理解促進	
走行環境の維持・構築に向けた合意形成	

■3-4-2. 利用機会の創出

【通年運行の実施】

※通年運行(年間を通した運行)の実施状況について、以下の表に記載してください

※「実施予定」の場合は、開始見込み時期を記載してください

項目	実施状況	開始時期
通年運行	実施中／実施予定／実施予定なし	XX 年 X 月～

【利用機会の創出に向けた取組】

※その他、周辺交通との連携等、移動サービスの利用促進に向けた計画がある場合は計画内容を記載してください。

項目	取組内容
利用機会の創出	

3-4.
社会受容性面
の事業内容

<p>3-5. 実施体制図</p>	<p>※本事業の実施体制図を下記の図を参考に作成してください</p> <p>※調整中の参加団体・外注先・協力団体がある場合は、その旨が分かるようにしてください</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">補助事業者</div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 0 auto; width: 60%;"> 参加団体 ・株式会社△△ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center; width: 45%;"> ↓ (委託・外注) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 業務委託・外注先 ・株式会社□□ ・〇〇株式会社 ・株式会社◇◇ </div> </div> <div style="text-align: center; width: 45%;"> ↓ (支援・協力) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 協力団体 ・A 大学（未確定） ・〇〇市 </div> </div> </div> </div>																																			
<p>3-6. 参画団体・役割</p>	<p>※本事業に参画する各団体・組織の役割を簡潔に記載してください</p> <p>※参画について調整中の参加団体・外注先・協力団体がある場合は、その旨が分かるように参画状況の列を「未確定」としてください</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">No.</th><th style="width: 20%;">参画分類</th><th style="width: 15%;">参画状況</th><th style="width: 25%;">団体名</th><th style="width: 30%;">役割</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td><td>代表団体</td><td>確定</td><td>●●●</td><td>事業全体の企画</td></tr> <tr> <td>①</td><td>参加団体</td><td>確定</td><td>株式会社△△</td><td>事業の企画、運営、進捗管理</td></tr> <tr> <td>②</td><td>業務委託・外注先</td><td>確定</td><td>〇〇株式会社</td><td>自動運転車両の提供・改造</td></tr> <tr> <td>③</td><td>業務委託・外注先</td><td>確定</td><td>株式会社□□</td><td>自動運転車両の運行</td></tr> <tr> <td>④</td><td>業務委託・外注先</td><td>未確定</td><td>株式会社◇◇</td><td>高精度 3Dmap の作成</td></tr> <tr> <td>⑤</td><td>協力団体</td><td>確定</td><td>〇〇市</td><td>実証実験場所の提供</td></tr> </tbody> </table>	No.	参画分類	参画状況	団体名	役割	—	代表団体	確定	●●●	事業全体の企画	①	参加団体	確定	株式会社△△	事業の企画、運営、進捗管理	②	業務委託・外注先	確定	〇〇株式会社	自動運転車両の提供・改造	③	業務委託・外注先	確定	株式会社□□	自動運転車両の運行	④	業務委託・外注先	未確定	株式会社◇◇	高精度 3Dmap の作成	⑤	協力団体	確定	〇〇市	実証実験場所の提供
No.	参画分類	参画状況	団体名	役割																																
—	代表団体	確定	●●●	事業全体の企画																																
①	参加団体	確定	株式会社△△	事業の企画、運営、進捗管理																																
②	業務委託・外注先	確定	〇〇株式会社	自動運転車両の提供・改造																																
③	業務委託・外注先	確定	株式会社□□	自動運転車両の運行																																
④	業務委託・外注先	未確定	株式会社◇◇	高精度 3Dmap の作成																																
⑤	協力団体	確定	〇〇市	実証実験場所の提供																																
<p>3-7. スケジュール</p>	<p>※2025 年度事業の実施スケジュールについて、様式 2 別紙「事業スケジュール」シートへ記載してください</p>																																			
<p>3-8. 事業実績</p>	<p>※代表団体（地方公共団体）が自動運転に係る事業実績を有する場合は、事業名、事業概要、実施年度等を簡潔に記載してください。</p>																																			

4. 事業の将来像

4-1. ロードマップ ・体制

■ 4-1-1. ロードマップ

※今後の自動運転事業におけるロードマップとして以下の表を作成し、今後の事業計画について簡潔に記載してください

※複数のエリア・ルートでの事業実施を予定している場合は、モデル毎にロードマップを作成してください

※以下の表を記載したうえで、事業者独自のロードマップを作成している場合は本項目にて引用してください

項目	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
レベル 4 運行* ¹	◎/○/ー	◎/○/ー	◎/○/ー	◎/○/ー	◎/○/ー
運行台数					
運行ルート					
運行方式					
運賃	有償/無償	有償/無償	有償/無償	有償/無償	有償/無償
運転者	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
特定自動運行 保安員	同乗/遠隔/ 無	同乗/遠隔/ 無	同乗/遠隔/ 無	同乗/遠隔/ 無	同乗/遠隔/ 無
遠隔監視体制* ²	N:N/無	N:N/無	N:N/無	N:N/無	N:N/無

*¹ : ◎ : 1 系統内の全区間でレベル 4 運行、○ : 1 系統内の一部区間でレベル 4 運行、
ー : レベル 4 以外の運行

*² : 1 拠点における遠隔監視員の人数 : 監視対象の車両台数の比率を記載してください。
(複数地域・事業で 1 拠点を活用するケースも可)

■ 4-1-2. 各年度の取組計画

※レベル 4 運行や通年運行等の開始に向けて、2025 年度～2029 年度までの各年にどのような取組を実施するのか、ロードマップの記載に対応する形で記載してください

※各年の取り組みの関連等を意識し、具体的かつ詳細な取組計画を記載してください

年度	取組内容
2025 年度	※1-3. の記載と齟齬が無いように記載してください
2026 年度	
2027 年度	
2028 年度	
2029 年度	

5. その他

5-1. 情報公開 可否について

※公募要領のⅣ. 6. (7) 調査への協力に記載の通り、本様式に記載いただいた内容は事業者間の連携の推進、政策効果検証等に使用することを目的として、個社情報が特定されないように処理した上で公開する場合があります。

※本様式の記載内容のうち、公開不可の内容がある場合は、以下の表にて該当項目及び公開不可の事由について記載してください。

#	項目	理由
1	(例) 5-1. ロードマップ・体制	(例) 公にすることにより、法人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがある
2		

5-2. 他の施策との 連携

■ 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）の活用

※第2世代交付金では自動運転移動サービスの社会実装に係る取組も対象事業となるため、当該交付金の活用もあわせて積極的にご検討ください

※参考：[内閣府：新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）](#)

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）の活用
<ul style="list-style-type: none"> ・活用予定あり／活用予定なし ・（活用する場合）第2世代交付金での実施内容

■ その他、本事業との関連が認められる施策

※本事業と関連する施策の実施予定について記載してください

以 上